

# 新市立病院 移転計画決定へ

●問い合わせ 病院建設課

(波田支所4階) ☎92-6011 ☒92-6021



松本市西部地域の基幹病院として、また感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症の診療を行う、松本市立病院（波田地区）。建設から36年が経過し、施設の老朽化や狭あい化への対応が必要となり、移転新築を目指しています。

昨年3月に、宮地エンジニアリング（旧宮地鉄工）の工場跡地への移転協議が終了して以降、現在、その建設候補地が2カ所に絞られています。

それぞれの利点や課題を洗い出し、市民の皆さんの意見を取り入れ、内容を検討したものを議会に示し、候補地を含めた市立病院建設基本計画見直し骨子を決定していきます。

## 新病院の規模など

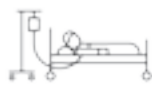
〈病床数〉199床 → **180床**

〈個室割合〉15% → **50%**

〈診療科〉27科 → **26科**

※もともと専門医のいない放射線科を廃止  
(その他の診療科は継続)。

〈経営形態〉地方公営企業法全部適用を**継続**



◆ 新病院の建設により  
何が変わる？

今後、複数疾患を抱える高齢患者の増加が見込まれるため、全人的全人生医療の提供を行えるよう、体制を整備します。

また、地域密着型の在宅療養支援病院として、西部地域の地域包括ケアシステムの一翼を担い、認知機能の予防も含めた全市民的なフレイル（虚弱）予防センターとしての機能を新病院の特色として据えます。

◆ 病床数を減らして  
大丈夫？

昨今の少子化に伴う人口減、今後の需要予測、現在の病床稼働率をもとに財政試算を行った結果、180床が最適であると算出しました。

また、個室割合を引き上げること、稼働率の向上を図ります。

◆ 今後の進め方

6月〜7月に実施したパブリックコメントや市民説明会で、骨子（案）に対する意見をいただきました。

その意見を反映した市立病院建設基本計画見直し骨子について、議会で協議します。

議会で可決した後、同基本計画の見直しに着手し、年度内の基本計画策定を目指します。

▼骨子案の詳細  
はこちら



# 2つの 建設候補地はこちら

建設候補地の延べ床面積はどちらも同じですが、敷地面積や総事業費などが異なります。



## 候補地①

### 波田中央運動広場



早期に着工できますが、敷地内に土砂災害特別警戒区域が含まれます。

#### 利点

- 市街化区域であるため、用地区域の変更を必要とせず、建設の早期着手ができる。

#### 課題

- 土砂災害特別警戒区域が含まれるため、対策工事が必要。
- 運動広場の代替地が必要。
- 波田駅周辺の渋滞や混雑が懸念される。

#### 概算の建設規模

〈敷地面積〉	1万1,800㎡
〈建物階数〉	4階
〈延べ床面積〉	1万5,000㎡
〈建築面積〉	3,800㎡
〈総事業費〉	79.1億円程度
〈開院時期〉	令和8年度



## 候補地②

### 波田保健福祉センター周辺

環境に恵まれますが、土地の用途変更が必要となり時間がかかります。



#### 利点

- 敷地面積が広く、自然災害の影響が少ないため、リハビリ庭園など快適な療養環境を整備できる。

#### 課題

- 農業上の利用を確保するために定められた土地のため、農業政策との調整が必要。
- 地区計画の検討が必要のため、建設の着手に時間がかかる。

#### 概算の建設規模

〈敷地面積〉	2万9,800㎡
〈建物階数〉	2階
〈延べ床面積〉	1万5,000㎡
〈建築面積〉	7,500㎡
〈総事業費〉	87.9億円程度
〈開院時期〉	令和11年度